

感謝心援!

2023.(R5) 7.26

山 陽 新 月

引退を示唆

37歳の清水の夢ははかなく散った。ついにたどり着いた世界初挑戦で技巧派王者に完敗。鼻からは血が滴る。声を震わせ「その方向になると思う」と引退を示唆した。

村田諒太さんら2012年ロンドン五輪で闘った仲間も駆けつけた。ロンドンでラミレスと拳を交えた須佐勝明さんには、打ち終わりの

防御の甘さとパワー不足を狙う助言を受けていた。だが王者のスピードとフェイントに惑わされ、最大の持ち味の左強打は届かない。5回に左アッパーをもらい膝から崩れる。さらに連打を浴び、無念の結末を迎えた。

五輪銅メダルの実績で現役を退いても素晴らしいボクサー生活だったが「人生は一回」と30歳でプロに転向。10代の選手とも同じト

レーニングをこなしてチャンスを待った。19年に負った眼窩(がんか)底骨折も乗り越えた。一方で「数年前から体がうまく動かなくなって、バランスが悪くなった」と現実にも直面していた。

傷だらけのサウスポーは感謝を含め、四方へ礼をしてリングを去った。集大成の闘いを終え「恩返しをしたかった」と吐露した。

清水 5回TKO負け

持ち味の左強打不発 37歳の夢散る



2回、ロベイン・ラミレス(右)に攻められる清水聡=有明アリーナ

▽WBO世界フェザー級タイトルマッチ12回戦
ロベイン・ラミレス(キューバ) 57・0kg
清水聡(大橋) 57・0kg
TKO 清水聡 (大橋) (分8回1)

【評】清水は5回に左アッパーを打ち上げたが、続々と返されてダメージを受ける。反撃で止めた。序盤から手数を出していたが、王者の防御を崩せず、有効打が少なかった。リーチの長さを生かせなかった。ラミレスはガードを固めて低い体勢からタイミ

ンクよく左アッパーや左フックを打ち込んだ。ラミレス完勝防衛
○ラミレスは身長やリーチのハンディを感じさせない完勝で防衛した。「気分は最高」と涼しい顔で話した。

闘志あふれる一戦に拍手 地元総社でPV

清水の出身地、総社市では25日夜、市主催のパブリックビューイング(PV)が2会場で行われ、大勢の市民らがエールを送った。
清水の地元にある昭和公民館(同市美袋)には住民や恩師、母校の関西高ボクシング部の生徒ら約120人が駆け付け、子どもたちが手作りした旗を振って試合を見守った。
開始直後に始まった「清水」コールは中盤にヒートアップ。王者の猛攻を必死で防ぐ姿に「頑張れ」の声も飛び交い、敗戦後も闘志あふれる闘いぶりに盛大な拍手が送られた。
清水が通った昭和小の当時校長だった河合真作さん(80)＝同市秦＝は「常に挑戦し、前進する気持ちを受け取った。総社を世界に発信してくれてありがとう」とねぎらった。
市総合福祉センター(同市中央)でもPVが行われ、約50人が声援を送った。(寺尾彰啓)



清水の健闘をたたえ、拍手を送るパブリックビューイングの参加者=昭和公民館